

						授業コード*	4065		
授業科目	成熟期看護方法9 (成熟期看護技術演習) Nursing of Adults 9 (Practice of Nursing Skills)	責任教員 北村 直子 船橋 眞子	単位数	1	科目区分	必修	科目履修	不可	
			時間数	30	開講セメスター	4			
目的と目標	<p>目的： さまざまな健康状態で生活を営んでいる成熟期にある人とその家族が、健康を維持し、また、健康障害に適応・健康障害から回復して社会的復帰や自立・自律した生活をおくるために関連のある看護技術を中心に、基本的な援助方法を演習を通じて学ぶ。さらに、演習を通じて、医療安全に対する看護専門職としての責任ある態度を習得する。</p> <p>目標： 1. さまざまな健康障害をもつ成熟期にある人とその家族が健康生活を回復するための援助技術を学ぶ。 2. 健康障害をもつ成熟期にある人とその家族の状況に応じた援助過程を展開できるように、紙上患者とその家族の看護過程の一部を学ぶ。 3. ケア対象・提供者双方にとって安全な援助技術を学ぶ。</p>								
回数	学修課題	内容並びに方法						担当教員	
1	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> 授業の目的・内容およびスケジュールについて説明し、自己学習及びグループ学習の導入とする。 事前課題に関する小テストを行い、学習状況を確認する。 						北村 布施 船橋 浅井 宇佐美 堀田 中井 橋本 廣永 松永	
2～5	成熟期看護技術 ・呼吸、循環機能のアセスメントと障害時の看護技術 ・運動機能のアセスメントと障害時の看護技術	<ul style="list-style-type: none"> 気道クリーニング法、口腔ケア、心肺脳蘇生法 ポジショニング、自動・他動運動 上記演習を通じて、ケア対象者の安全・安楽に基づく看護技術の提供とともに、自らの安全、医療の現場に間接的に関わる人の安全を守るための方法を学ぶ。 *演習においては、オリエンテーション時に提示された事前課題を学習し、また、配布された演習資料に必ず目を通して臨むこと (演習) 							
6～11	成熟期にある患者の看護過程の展開 (対象理解、診断、計画)	<ul style="list-style-type: none"> 健康障害を有する成熟期の紙上患者について、情報の分析・統合、「看護ケアが必要な状態」の診断、看護計画の立案を個人ワーク・グループワークを通して学ぶ。 (個人ワークおよびグループワーク) 							
12・13	成熟期にある患者の看護過程の展開 (実施)	<ul style="list-style-type: none"> 紙上患者の事例に対する具体的な援助をグループワークを通して学ぶ。 ロールプレイ実演の準備を行う。 (グループワーク) 							
14	成熟期にある患者の看護過程の展開 (実施)	<ul style="list-style-type: none"> ロールプレイ実演と振り返りを通して具体的な看護援助実施について (グループワーク) 							
15	成熟期にある患者の看護過程の展開 (実施・評価)	<ul style="list-style-type: none"> ロールプレイ実演で行った看護を記録し、評価について学ぶ。 (個人ワークおよびグループワーク) 学習の振り返りを行い、総括する。 							
注)「成熟期看護技術」と「紙上患者の看護過程の展開」の演習は履修者を半数に分け、交互に実施する。									
*技術演習、グループワークが主体の授業であり、欠席によりペア・グループを組む学生に迷惑がかかるため、100%出席を原則とする。事情があって欠席する場合はそれを示す書類等の提出を求める。									
評価方法	事前課題 (5%)、成熟期看護技術に関する提出物 (30%)、紙上患者の看護過程の展開に関する提出物 (65%)								
参考文献	<p>指定図書：新体系看護学全書 基礎看護学②基礎看護技術Ⅰ (メヂカルフレンド社・深井喜代子) 系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学[3] 基礎看護技術Ⅱ (医学書院 任和子) 看護がみえるvol.1 基礎看護技術 (メディックメディア 岡庭豊) 看護がみえるvol.2 臨床看護技術 第1版 (メディックメディア 岡庭豊) 看護学テキストNiCE 急性期看護Ⅰ-概論・周術期看護 (林直子 佐藤まゆみ編) 南江堂 1・2・3セメスターの成熟期看護学の授業の指定図書 参考図書：1・2・3セメスターの成熟期看護学の授業の参考図書 資料：1・2・3セメスターの成熟期看護学の授業資料</p>								
事前準備	特に1・2・3セメスターで学習した人体・治療学の「人体の物質交換システム」「人間の環境応答システム」「自己保存・種族保存システム」「治療学概論」の知識が求められることから、これらの復習が必要である。3セメスター終了時に事前課題を提示するので、学習して授業に参加すること。								
受講要件									